

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリー1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当	
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当	
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当	
サブカテゴリー1の講評			
<p>ブログにおいて日々の保育の様子が発信されており、園の活動を知ることができる</p> <p>A4三つ折りのパンフレットが作成されており、入園希望者・見学者に配布されている。保育目標・独自保育・保育料・年間行事・給食等々の情報が網羅されており、簡易な仕様でありながら、必要な情報が得られる内容となっている。またブログにおいて日々の保育の様子が発信されており、園の活動を知ることができる。</p> <p>園見学者専用の説明用書面が設定されるなど園を理解するためのツールが作成されている</p> <p>行政への情報提供のほか法人、関係機関と連携し、協調した支援となるよう取り組んでいる。また行政のホームページとリンクがなされており、誰もが見られる状況を構築している。園見学者専用の説明用書面が設定されるなど園を理解するためのツールが作成されており、今後は外国籍の保護者用パンフレット作成の必要性も認識している。</p> <p>コロナ禍においても工夫した園見学により理解を深めてもらえるよう努めている</p> <p>見学者に対して園の方針や環境を理解してもらえるよう取り組んでいる。パンフレット・園の説明用書面を配布し、保育時間や園の特色など保護者が気になる情報を提供し、理解したうえで入園してもらえるよう取り計らっている。新型コロナウイルスの影響を考慮しながら見学を実施しており、時に散歩時の様子等生の園生活を見てもらうなど工夫した対応がなされている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2 サービスの開始・終了時の対応			
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当	
サブカテゴリ-2の講評			
<p>重要事項説明書等を用いて説明し、同意を得ている</p> <p>重要事項説明書等の書式が準備されており、面談にて園の決まり等の説明後、同意を得たうえで入園が果たされている。また見学時にはパンフレットのほか、園の特色について書面が配布されており、法人の概要、リトミック・英語・漢字の学習方法、準備するもの、アレルギー対応等がわかりやすく明示されている。</p> <p>保護者の就労を考慮しながら保育が開始されている</p> <p>慣らし保育については一定の協力を求めているものの、保護者の就労を考慮しながら保育が開始されており、子ども・保護者双方にとってスムーズで安心な入園となるよう努めている。外国籍の保護者に対しても職員が協力しながらコミュニケーションをし、生活様式や食事等に配慮するよう努めている。母国語に訳した重要事項説明書などの文書作成も検討している。</p> <p>聴取した情報を基に子ども一人ひとりの環境設定に取り組んでいる</p> <p>入園前のアンケートや面談結果や提出書類にもとづき、生活、食事等子ども一人ひとりの環境設定に取り組んでいる。また初めて子どもを預ける保護者に対しては特に心配を払拭できるよう努め、子どもの様子等を伝えるよう取り組んでいる。また管理職・職員が保護者に明るく声をかけ、保護者にも園に慣れてもらえるよう配慮している。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3 個別状況の記録と計画策定			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当	
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当	
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当	
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
家庭からの情報を把握・対応したうえで迎え入れられている 入園時にはアレルギー・家庭状況等の書類を提出してもらい、把握・対応したうえで迎え入れられている。また日々の健康状態、午睡状況、保育活動については、それぞれ様式が定められており、適切な記録と保管に努めている。また連絡帳は複写式のタイプとなっており、園からの伝達だけでなく、家庭での状況報告の記録としても機能している。			
各計画は、整合性が図られており、理論と実践保育の双方の考慮がなされている 全体的な計画、年間指導計画、月案、週案など領域ごとに目標とねらいが定められており、園の方針や取り巻く環境を考慮した保育となるよう立案されている。また子どもたち一人ひとりの課題・目標等については児童票に収められており、1カ月の成長や保育内容が理解できる内容となっている。各指導計画、食育計画等は整合性が図られており、理論と実践保育の双方の考慮がなされている。			
ミーティングの記録と連絡ノートにより情報共有が図られている 毎日の昼礼についてはノートに記録が残されており、連絡ノートと共に出動していなかった職員も確認ができる仕組みが整備されている。これらの確認のほか、職員間のコミュニケーションにより伝達漏れがなくなるよう取り組みがなされている。特別に担当を設けることなく全職員で全児童を見守る体制から密なる職員間の情報共有と連携が必須であることが認識されており、各種記録は重複しないよう・効率化を図るよう指導にあたっている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>個人情報の第三者提供について明記・説明し、書面をもって同意を得ている 入所時には個人情報の第三者提供について4つの具体的事由を明記・説明し、書面をもって同意を得ている。また個人情報の開示・訂正・利用停止・消去についても明文化がなされている。個人情報保護規程が整備されており、適切な使用と保管にあっている。</p> <p>信頼関係を築き、安心した中で過ごしてもらえる環境作りがなされている 子どもたちに芽生え始める羞恥心について保育の中で考慮し、排せつ、おむつ替えの際は人の目に触れることのないように努めている。また着替えについても必ず子どもに話してから行い、プライベートゾーンの確保について学ぶ機会となるよう取り組んでいる。男性・女性の職員を問わず、子どもとの信頼関係を築き、安心した中で過ごしてもらえる環境作りがなされている。</p> <p>視診と観察により子どもたちの健康状態・生活状況の把握・記録に努めている 毎日の視診と観察により子どもたちの健康状態・生活状況の把握・記録に努めている。また異常を発見した際には、職員間での情報共有・行政等関係機関との連携により対応を図るよう準備している。子どもたちが安全に安心して暮らすことができるよう生活全般に注意を払いながら様子の観察に取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>各種規程・マニュアルの整備がなされ、保育の基盤となっている</p> <p>就業規則、賃金規程、園則等諸規程、安全管理、感染症対応、防災等のリスク管理マニュアル、事業継続計画、ボランティア受け入れ規程等々の規程・マニュアルが完備されている。また園独自のルールや平井マニュアルと題した養護マニュアルも策定されている。基本事項等の確認、理念の実践に役立つよう作成されており、園の保育の基盤として存在している。マニュアル・各種規程については年度末に見直すよう規定されている。</p> <p>プチ研修の実施など独自の取り組みによる研鑽がなされている</p> <p>充実した園内研修の実施、各種マニュアルの設定、新任時教育の実施等職員育成に対して注力した取り組みがなされている。特に園内研修については「プチ研修」と題し、各職員が業務の合間を見ながら短時間にて行われており、管理職の丁寧な指導のもと実施されるなど小規模事業所の範となる取り組みが行われている。研修事項もOJTによる確認がなされており、実態に即したものとなるよう取り組んでいる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		34 / 35	
1 評価項目1			
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○●)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
○あり ●なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>興味や関心に応じて玩具を入れ換えるなど工夫しながら遊べるよう取り組んでいる</p> <p>それぞれの子ども、その時々の子どもの様子や健康状態に応じて活動計画を立てており、反省や評価を反映させながら保育を進めている。また子どもたちの興味や関心に応じて玩具を入れ換え、配置し限られたスペースの中で工夫しながら遊べるよう取り組んでいる。子どもたちが安全に遊べるよう職員の見守り姿勢や体制に留意しており、園全体を見渡せるよう連携を図っている。</p> <p>互いに刺激・尊重しあいながら成長できるよう保育を進めている</p> <p>文化や習慣の違いなどを尊重し、かつ子ども同士が互いに刺激・尊重しあいながら成長できるよう保育を進めている。食事に関しても宗教・地域等を考慮し、除去・代替にて対応をしている。また子どもの発達や特性を踏まえた環境作りに取り組んでおり、一人ひとりに対する指導案の立案と実施、専門家からのアドバイスをもとに成長への援助に取り組んでいる。</p> <p>子どもの気持ちを代弁しながら職員が寄り添う保育を実践するよう努めている</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士の姿には必ず要因があることを認識しており、うまく意思を伝えられない子どもの気持ちを代弁しながら職員が寄り添う保育を実践するよう努めている。管理者が職員と一体となって保育を進めており、理論と実践の双方の理解により保育の質の向上に取り組んだ結果、現在の園が形成されている。</p>			

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当	
●あり ○なし		2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当	
評価項目2の講評					
<p>24時間デイリーとして把握し、園全体での共有がなされている</p> <p>登園時には、保護者から家庭での様子を聴取し、連絡帳等を活用しながら健康状態の確認にあたっている。子どもたちの健康状態や様子は家庭での状況を含め、24時間デイリーとして把握し、昼礼・連絡ノートを通じて園全体での共有がなされている。保護者との関係を構築し、情報を共有しながら連携を図っている。</p> <p>促しながら・さりげなく生活習慣の習得援助に努めている</p> <p>家庭の意向、家庭での様子を聴取しながら子どもたち一人ひとりに合わせてトイレトレーニング、離乳食等の生活習慣の習得にあたっている。子どもの発達に合わせて無理なく進めており、先ず子どもが心地よく過ごすことに留意しながら取り組んでいる。子どもが自らの意思で始めることを重視しており、促しながら・さりげなく援助できるよう努めている。</p> <p>機器に頼ることなく・細かな事項まで観察・留意するよう指導がなされている</p> <p>年齢ごとに定めた間隔により午睡時のチェックが行われており、安全な姿勢で呼吸が保てるよう確認がなされている。確認については記録し、保管がなされており、機器に頼ることなく・細かな事項まで観察するよう指導・留意事項が記されている。家庭での状況により休息・午睡を設定し、子どもそれぞれの状況に応じた対応に取り組んでいる。</p>					

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもたちが思い思いに遊び込める環境構成となるよう取り組んでいる</p> <p>子どもたちの要求や発達に合わせ、「多様な遊びができるよう・安心して過ごせるよう」職員が見守りながら、子どもたちが思い思いに遊び込める環境構成となるよう取り組んでいる。子どもたちが関わりを持ちながら・興味をもてるよう玩具を入れ換え、パーティションでの区切りなどスペースへの配慮がなされている。</p> <p>音楽(リトミック)、英語教育、漢字教育などを通じて表現力の醸成に取り組んでいる</p> <p>音楽(リトミック)、英語教育、漢字教育については、専門講師および学校法人である法人本部から指導を受けた職員によるカリキュラムが実施されており、子どもたちの可能性を広げ、自由に表現できる力を身につけられるよう取り組んでいる。また絵本の読み聞かせに注力しており、多様な教材が用意されている。</p> <p>多くの体験がなされるよう戸外活動に取り組んでいる</p> <p>積極的な戸外活動がなされており、季節や自然に親しみ、多くの体験がなされるよう取り組んでいる。また散歩時には下町情緒が残る温かな地域の方々と触れ合いがなされている。各年齢の保育目標や指導計画にはねらいが設定されており、子どもたちの状況を考慮しながら取り組んでいる。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日々の活動の延長線上に行事を設定し、楽しみながら取り組めるよう企画されている</p> <p>多様な行事を予定しているものの日々の活動や遊びの延長線上に行事を設定しており、作り込むものではなく、楽しみながら取り組めるよう行事が企画されている。行事企画は職員配置、ねらい等細かく分析されており、次期の参考となるよう綿密な記録が残されている。子どもが主体的に学び、また成長の跡を保護者に感じてもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>保護者の参加人数の考慮、複数回に分けての実施等工夫をもって行事を開催している</p> <p>新型コロナウイルスの影響を受けるなか、保護者会・個人面談等は縮小・中断を余儀なくされている。お楽しみ会については、保護者の参加人数の考慮、複数回に分けての実施により開催している。終息後は、保護者の就労に考慮した日程にて親子で楽しめるクッキングなどを開催する意向をもっており、実現が期待される。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○非該当
評価項目5の講評			
<p>保育時間が長くなる場合も状況に応じた活動ができるよう環境形成に取り組んでいる</p> <p>職員間の情報共有、日々の健康記録の確認を通して、保育時間が長くなる場合においても安全・安心に過ごせるよう体制の整備がなされている。子どもたちがゆったりと過ごせるよう休息の取り方や活動構成に配慮し、子ども一人ひとりの状況に応じた活動ができるよう環境形成に取り組んでいる。</p> <p>ストレスを考慮し、夕方からも外出をするなど工夫した取り組みがなされている</p> <p>長時間保育については全体的な計画に項目立てがなされており、通常保育とのバランス、子どもたちの疲労を考慮して取り組む意向が記されている。子どもたちのストレスを考慮し、夕方からも外出をするなど工夫した取り組みがなされている。また家庭にあるような玩具を設定するなどの配慮と雰囲気作りに努めている。</p>			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>食事がゆったりと・楽しい時間となるよう取り組んでいる</p> <p>栄養士により毎月の献立がたてられており、ICTシステムを活用し保護者への配布がなされている。年齢・月齢により離乳食等子どもたちそれぞれの発達にあわせた提供がなされている。子どもたちが安心した環境の中食事ができるよう、自分のペースで・ゆったりと・楽しい時間となるよう取り組んでいる。</p> <p>子どもの姿を反映した食育計画が立案されている</p> <p>年間の食育計画が立案されており、5つの目標、月齢・年齢ごとの取り組み、ねらい、援助と配慮等が盛り込まれている。行事企画の計画とは一線を画す内容となっており、特に子どもの姿については単純に年齢で区切るのではなく、それぞれの目標に対してゆるやかなタームを目安としている。全体的な計画・年齢ごとの指導計画と整合性を持たせる内容となっている。</p> <p>一人ひとりに適した対応と安全への配慮により食事提供がなされている</p> <p>食物アレルギーを持つ子ども、宗教上食べ物に配慮が必要な子ども等一人ひとりに対応した除去食を提供しており、提供を誤ることのないよう安全への配慮もなされている。また行事食、誕生日食、クッキングなど様々な取り組みにより食への関心を喚起するよう取り組んでいる。新型コロナウイルス終息後は親子で楽しめるイベントの開催を検討している。</p>			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>安全と衛生を配慮し環境形成に取り組んでいる</p> <p>午睡に対しては年齢ごとに決まった間隔による午睡チェックが行われている。確認後はチェック表に記録し、保管がなされている。また夏季外出時は園が用意したナチュラルな虫よけを使用するなど配慮している。食事後は年齢に合わせた対応にて口腔衛生が保たれるよう取り組んでいる。</p> <p>マニュアルの整備・指導・周知をもって子どもたちの安全を維持するよう取り組んでいる</p> <p>感染症マニュアル・アレルギーマニュアルを整備しており、職員への指導・周知をもって子どもたちの安全を維持するよう取り組んでいる。また消毒、マスク着用、換気等新型コロナウイルス対策を講じており、送迎時も密にならないよう保護者への協力を求めている。玩具の消毒等職員の負担軽減のため臨時職員を配置するなどの配慮もなされている。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者に寄り添った支援となるよう努めている</p> <p>保護者の就労に対してはなるべく協力するよう努めており、一定の期間を想定するものの慣れ保育等についても柔軟な対応をもって取り組んでいる。急な延長保育・契約外利用・補食の提供等についても配慮をもって行われており、保護者に寄り添った支援となるよう努めている。また送迎時や連絡帳でのやりとりを通して家庭との双方向での情報共有に努めている。</p> <p>家庭と共に保育を進めるよう取り組んでいる</p> <p>離乳食、トイレトレーニング等については家庭の方針の尊重、子どもの状況の考慮により行われており、特に家庭と平行して行うよう・連携した取り組みとなるよう努めている。特に離乳食については保護者にも見てもらい、家庭と歩調をあわせるよう配慮している。連絡帳を活用し、子どもの成長を確認してもらい、家庭と共に保育を進めるよう取り組んでいる。</p> <p>子ども主体の保育や活動であることが心がけられている</p> <p>保護者への支援や配慮について細やかな対応がなされているものの、子ども主体の保育や活動であることが心がけられており、本評価における利用者調査においても保護者への理解が浸透していることが理解できる。また保護者支援や保護者との送迎時の会話についても記録を充実していく意向も持っている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>社会資源、地域特性を活用し、地域交流に努めている 本園は下町情緒が残る商店街の中にあり、散歩時の挨拶など温かな交流がなされている。近隣には土手や公園など恵まれた自然環境があり、時に夕方からも外出をするなど地域特性を活用している。また世代間交流を目的とした地域社会資源施設の保育所紹介に出展するなどの取り組みもなされている。</p> <p>地域貢献における終息後の具体的目標が想定されている 現在は新型コロナウイルスの影響下にあるため、地域行事への参加・ハロウィンでの協力依頼・勤労感謝の日におけるカードプレゼント等は控えている。終息後は、様々な取り組みの再開、保育所体験や子育て講習会の推進、法人内他園、連携園との交流活性化などを目標としている。</p>		